

平成26年度 農業分野試験研究の成果と普及

1 普及に移す技術・品種

- (1) 帰化アサガオの葉齢進展モデルに基づく茎葉処理剤の防除時期
担当：農林水産総合技術センター 農業研究所 栽培課 TEL:076-429-5280
- (2) 加里の土壌改良目標値を下回る水田におけるダイズ栽培での加里増施による収量および品質向上
担当：農林水産総合技術センター 農業研究所 土壌・環境保全課 TEL:076-429-5248
- (3) 発生予察に基づいたニカメイチュウの薬剤防除法
担当：農林水産総合技術センター 農業研究所 病理昆虫課 TEL:076-429-5249
- (4) タマネギ乾腐病の耕種的な防除方法
担当：農林水産総合技術センター 農業研究所 病理昆虫課 TEL:076-429-5249
園芸研究所 野菜課 TEL:0763-32-2259
- (5) 富山県における機械化体系に対応したタマネギの春まき夏どり作型開発
担当：農林水産総合技術センター 園芸研究所 野菜課 TEL:0763-32-2259
- (6) 春まき夏どりタマネギのりん茎重の確保
担当：農林水産総合技術センター 園芸研究所 野菜課 TEL:0763-32-2259
- (7) 秋まきタマネギ栽培における定植時期と基肥窒素施肥量
担当：農林水産総合技術センター 園芸研究所 野菜課 TEL:0763-32-2259
- (8) ニンニクの収量および品質向上に向けた植付け時期と収穫期
担当：農林水産総合技術センター 園芸研究所 野菜課 TEL:0763-32-2259
- (9) 麦あとを活用したニンジンの栽培方法
担当：農林水産総合技術センター 園芸研究所 野菜課 TEL:0763-32-2259
- (10) 穴あきフィルムを用いた8月咲き夏秋小ギクの多収栽培法
担当：農林水産総合技術センター 園芸研究所 花き課 TEL:0763-32-2259
- (11) 圃場診断に基づくチューリップ微斑モザイク病・条斑病の防除対策
担当：農林水産総合技術センター 園芸研究所 花き課 TEL:0763-32-2259
- (12) チューリップモザイク病の多発要因と防除対策
担当：農林水産総合技術センター 園芸研究所 花き課 TEL:0763-32-2259
- (13) チューリップ微斑モザイク病および条斑病の体系防除
担当：農林水産総合技術センター 園芸研究所 花き課 TEL:0763-32-2259
- (14) ニホンナシ新品種「甘太」の特性
担当：農林水産総合技術センター 園芸研究所 果樹研究センター TEL:0765-22-0185
- (15) ニホンナシ「なつしづく」のジベレリン処理とマルチ処理の併用による熟期促進
担当：農林水産総合技術センター 園芸研究所 果樹研究センター TEL:0765-22-0185
- (16) ニホンナシ「幸水」熟度判定専用カラーチャート
担当：農林水産総合技術センター 園芸研究所 果樹研究センター TEL:0765-22-0185
- (17) 雨よけハウスでの根域制限栽培に適したラズベリー品種
担当：農林水産総合技術センター 園芸研究所 果樹研究センター TEL:0765-22-0185
- (18) 左右子宮角へ性選別精液を3本人工授精することで黒毛和種受精卵を安定生産できる
担当：農林水産総合技術センター 畜産研究所 酪農肉牛課 TEL:076-469-5921

2 普及上参考となる技術

- (1) 高温登熟性が極めて高い「コシヒカリ富山 APQ1 号」の育成
担当：農林水産総合技術センター 農業研究所 育種課、農業バイオセンター TEL:076-429-2114
- (2) 鉄コーティング直播における倒伏を回避するためのコシヒカリの適正籾数と品種による対策
担当：農林水産総合技術センター 農業研究所 栽培課 TEL:076-429-5280
- (3) 水稲に活用するためのヘアリーベッチの播種時期と細断時期の窒素量の推定
担当：農林水産総合技術センター 農業研究所 土壌・環境保全課 TEL:076-429-5248
- (4) 水稲に活用するためのヘアリーベッチ由来窒素供給量の予測法
担当：農林水産総合技術センター 農業研究所 土壌・環境保全課 TEL:076-429-5248
- (5) ヘアリーベッチを活用した特別栽培米の基肥の代替効果
担当：農林水産総合技術センター 農業研究所 土壌・環境保全課 病理昆虫課 TEL:076-429-5248
- (6) 収穫・調製管理によるタマネギの細菌性貯蔵腐敗の防除
担当：農林水産総合技術センター 農業研究所 病理昆虫課 TEL:076-429-5249
- (7) 富山県における春まき夏どりタマネギの生育経過とりん茎肥大
担当：農林水産総合技術センター 園芸研究所 野菜課 TEL:0763-32-2259
- (8) 秋まきタマネギ栽培における分けつの時期と葉位
担当：農林水産総合技術センター 園芸研究所 野菜課 TEL:0763-32-2259
- (9) 短葉性ネギ栽培における定植後生育促進のための育苗方法
担当：農林水産総合技術センター 園芸研究所 野菜課 TEL:0763-32-2259
- (10) リンゴ「あおり 16」の収穫基準
担当：農林水産総合技術センター 園芸研究所 果樹研究センター TEL:0765-22-0185
- (11) リンゴ「秋陽」に対する収穫前落果防止剤「ヒオモン水溶剤」の効果
担当：農林水産総合技術センター 園芸研究所 果樹研究センター TEL:0765-22-0185
- (12) 根域制限ラズベリー栽培におけるスギ樹皮利用技術
担当：農林水産総合技術センター 園芸研究所 果樹研究センター TEL:0765-22-0185
- (13) 県産の未利用農産物である日本梨は良好なサイレージ調製が可能
担当：農林水産総合技術センター 畜産研究所 酪農肉牛課 TEL:076-469-5921
- (14) 大麦わらサイレージは稲わらの代替飼料として利用できる
担当：農林水産総合技術センター 畜産研究所 飼料環境課 TEL:076-469-5921
- (15) 大麦わらのロールベール調製時に乳酸菌製剤を添加すると発酵品質が良好になる
担当：農林水産総合技術センター 畜産研究所 飼料環境課 TEL:076-469-5921
- (16) 養豚場汚水への曝気処理並びに濃縮海洋深層水添加は環境負荷物質低減に有効
担当：農林水産総合技術センター 畜産研究所 飼料環境課 TEL:076-469-5921